



健康百話

～今回は星の岡心臓・血管クリニックの大谷先生にお話を伺いました。～

講師紹介

星の岡
心臓・血管クリニック
院長（医学博士）
大谷 敬之先生
(おおたに たかし)



プロフィール

昭和63年3月 愛媛大学医学部卒業
平成5年3月 愛媛大学医学部大学院医学研究科卒業
平成5年4月 愛媛大学医学部附属病院第二内科勤務
平成6年4月 済生会西条病院 循環器科医長就任
平成11年6月 国立療養所愛媛病院循環器科勤務
平成12年4月 国立療養所愛媛病院 循環器科医長就任
平成19年4月 よつば循環器科クリニック 血管治療センター長就任
平成26年6月 星の岡心臓・血管クリニック開業

日本循環器学会認定循環器専門医



電話：089-956-5511

住所：〒790-0932 愛媛県松山市東石井 1-5-5

診療科目：循環器内科・血管内科・心臓内科・内科

外来受付時間：午前：8:40～11:30 午後：14:00～17:30

診療時間 SCHEDULE		月	火	水	木	金	土
		●	●	●	●	●	●
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●	
14:30～18:00	●	●	●	●	●	●	休

* 日・祝日は休診

*ご予約の変更是14時以降にお願いします。

休診日：日・祝

ホームページ：<http://hoshinooka-cvc.com/>

心臓CT、血管CTをご存知ですか？

CTといわれると皆さん何を想像しますか？

脳梗塞や脳出血の際の緊急時のCT、肺がんや肝臓、すい臓、腎臓等の胸腹部臓器の癌を見つけるためのCTでしょうか？

皆さんが周知されているCTですが、心臓、血管の状態を評価出来ることをご存知でしょうか？

皆さんが癌検診他で受けられるCTは、息止めをしながら検査を進めていきます。これは呼吸のブレできれいな画像が撮影できないためです。一方心臓は息を止めても1分間60-80回前後で動いていますから、数年前まではCTではまともに撮像することが出来ませんでした。



従来循環器科クリニックでの心筋梗塞や動脈瘤破裂の診断は、心電図や、エコー、血液検査といった検査が主体でした。本来であればこのような命の危険もある重篤な状態に陥る前に診断したいところですが、これらの検査では血管が詰るか破裂するまでわからないといった事が多かったのです。ところがコンピューターの進化、機器の多列化と高い空間分解能により、最近のCTの中でも特に64列以上のマルチスライスCTであれば、心筋梗塞の元となる2-4mmの冠動脈でさえも撮像可能で、動脈硬化のゴミ（プラーカと言います）の状態を判断できるようになってきました。

心筋梗塞や動脈瘤の破裂、足の血管の破裂といった心臓病、血管病は一端陥ると非常に致死率が高く恐い病気です。時折”近所の方が、同じ職場の者が突然亡くなった。”といった話も患者さんから耳にしますが、突然発作に到る前のプラーカが出来ている段階を心臓CT、血管CTできちんと評価し、その元凶である喫煙、肥満、体質などから来る高血圧、糖尿病、高脂血症（危険因子）に対して、早期に指導をすることでこれらの予防が期待されています。

日ごろの健診で上記危険因子を複数指摘されているメタボの方や足の痺れや歩行時のだるさが気になってあられる方、日ごろから胸部症状の気になってあられる方は一度心臓CT、血管CTにてご自身の血管をチェックしておかれることは如何でしょう？

